

野洲支部主催「ハイキング」 結果報告

9月26日残暑厳しいなか、ハイキングが無事完了することが出来ました。

京都の集合場所には、定刻に10名の会員が集合し地下鉄で松ヶ崎に移動してハイキングをスタートしました。

最初は五山送り火の一つである〔法〕の東山に向かい、山すその妙円寺（松ヶ崎大黒天）にてコースの安全祈願し、〔法〕の字火床へ、ここで京都市街を背景に記念写真撮影。下山後北山通から赤山禅院へ、昼食後修学院離宮前を経て曼殊院門跡、同院からさらに南へ進むと剣豪宮本武蔵ゆかりの八大神社に到着。本殿西側で吉岡一門との決闘当時の松の古木が保存されている。最後に武蔵と吉岡一門の決闘の舞台となったと伝えられる一乗寺下り松を見やり、帰りの一乗寺バス停へと歩を進めた。

当コースは秋になると見事な紅葉を見せますので、再度歩いてみたいものです。次回も参加者の年齢差を考慮した歴史街道コースを計画していきたいと考えています。

参加者（敬称略、順不同）

井上良一、小川和彦、川上祐佑、柴原喬、高木多三郎、林嘉彦、広瀬幸一、
木原秀之、奥田昌陽、梅本和夫 計10名 （担当 奥田、梅本）

